

防災〜災害に備えましょう〜

■安全対策課(内線217)

3月11日、東日本一帯を襲った大地震は、未曾有の大災害となりました。今もなお、避難生活を余儀なくされている被災者の方々がたくさんおられます。災害は、いつ、どこで、誰に降りかかるかわかりません。想像を絶する様子を目の当たりにした私たちは、どのように災害に立ち向かっていくべきなのでしょう。災害を最小限に食い止めるために再確認しましょう。



緊急時に備えましょう

自分を守るのは自分自身です

いろいろな災害への対処法の確認を

豪雨

- ・川の水位の上昇に注意する
- ・がけや川の近くの家では早めに避難準備をする

土石災害

土石災害が発生する時は次のような前触れがあります。十分注意しましょう。

土石流

- ・山鳴りや木のさける音、石がぶつかり合う音が聞こえる
- ・雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
- ・川が濁ったり、木が流れてくる

地すべり

- ・地面にひび割れができる
- ・沢や井戸の水が濁る
- ・斜面から水が噴き出す
- ・がけ崩れ
- ・がけからの水が濁る
- ・がけに亀裂が入る
- ・小石がバラバラ落ちてくる

台風

- ・雨戸や窓、アンテナ支線を補強する
- ・飛ばされそうなものは固定するか室内に取り込む
- ・商店の看板などの安全点検をする
- ・気象情報を常に確認する

地震

- ・テーブルや机の下に隠れる
- ・慌てて外に出ない
- ・揺れがおさまったら火の始末をする
- ・戸を開けて出口を確保する
- ・落下物などに注意する

火災

- ・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
- ・火災が発生したことを大声で知らせる
- ・消火器などで初期消火を行う
- ・火が燃え移ったら消火をあきらめ速やかに避難する

緊急避難場所を確認しましょう

市が避難勧告などを行ったときに開設されます。災害の規模により開設しない場合もありますので、避難する前に事前に安全対策課へお問い合わせください。

地区別	避難場所	地区別	避難場所	地区別	避難場所
三浦	三浦小学校 三浦住民センター	鈴田	鈴田小学校 鈴田住民センター		富の原小学校 竹松〃
大村	東大村小学校 旭が丘〃 大村〃 三城〃 玖島中学校 大村〃 大村城南高校 大村〃 大村特別支援学校 シーハットおおむら 市役所 市民会館 武道館 こどもセンター	西大村	中央小学校 放虎原〃 西大村〃 西大村中学校 桜が原〃 大村工業高校 県央農協大村中央支店 総合福祉センター 本経寺 正法寺 中地区公民館 西大村地区コミセン 池田公民館 湖畔会館 大村郵便局	竹松	黒木小学校 ダム建設記念会館 萱瀬小学校 萱瀬中学校 萱瀬住民センター
	福重		福重小学校 郡中学校 福重住民センター		
	松原		松原小学校 松原住民センター		

もう一度確認を！
 情報共有し災害時に備えましょう

〜このように時のために確認しておきたいこと〜

非常用品を備えておきましょう

最低3日間の生活に必要なものをリュックなどに入れて備え、避難時にすぐに持ち出せるようにしましょう。



日用品
懐中電灯、ラジオなど



食料品
飲料水、缶詰など



薬品
消毒薬、常備薬など



救急用品
ガーゼ、はさみなど



衣類
下着、上着など



貴重品
現金、通帳など

防災メルマガに事前登録を

市のホームページで「メールマガジン購読申請」に登録すると、避難場所をはじめ、火災や気象警報などの情報をパソコンまたは携帯電話へメールでお知らせします。事前登録をして災害に備えましょう。また、避難場所を開設した場合は、市のホームページでもお知らせします。

携帯電話からはQRコードをご利用ください。



停電情報を発信しています

台風による停電時には、電話がつながりにくくなる場合があります。停電情報は次のホームページでご確認ください。

携帯電話版ホームページ

<http://kyuden.jp>

パソコン版ホームページ

<http://www.kyuden.co.jp>

携帯メールサービス

台風による停電時には、ご登録いただいた携帯電話に停電情報をメール配信いたします。詳しくはホームページをご覧ください。



九州電力大村営業所 ☎0120(986)403

自助 備えあれば憂いなし
 日ごろの備えで安心な毎日を
 災害に備えて、まずやっておきたいこと

7



となり近所を日ごろから理解しておきましょう。

4



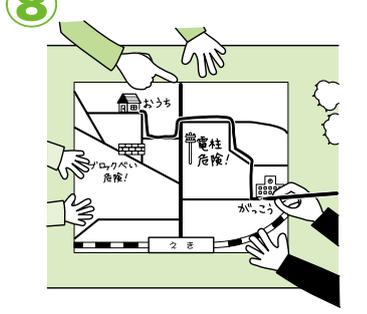
耐震診断や家具の固定などで、自宅の安全性を高めましょう。

1



家族で「防災会議」を開き、災害時にどうするか話し合っておきましょう。

8



積極的に防災研修会や防災訓練に参加しましょう。

5



最低3日間の食料や水など、あらかじめ必要な非常用品を準備しておきましょう。

2



いざという時の連絡方法、集合場所を確認しておきましょう。

9



自分だけでは難しい防災活動は、地元の自主防災組織や町内会に頼みましょう。

6



日ごろから避難場所、避難経路を確認しておきましょう。

3



市の防災メールやFMおおむらなどで、災害情報の入手方法を確認しましょう。

災害に立ち向かうため
 知っておきたいポイント

！災害用伝言ダイヤル

大規模な災害が発生した時、「171」をダイヤルし、音声に従い伝言の録音、再生を行います。携帯電話からも利用できます。

！FMおおむら 76.3MHz

FMおおむらでは、市内で災害が発生またはその恐れがある時、他の放送に優先して災害の情報を市民の皆さんに緊急放送します。

！家屋の定期的な点検を

- 家屋を定期的に点検することで、安心を手に入れます。
- 屋根：めくれ、ゆるみはないか。
 - 瓦の割れ、ずれ、ひびの点検。
 - 外壁：亀裂や腐り、浮きの確認。
 - 雨どい・雨戸：落ち葉やごみが詰まっていないか。がたつきはないか。
 - ブロック塀：ひびや破損はないか。
 - 窓ガラス：ひび、窓枠のがたつきはないか。強風による飛来物に備える。
 - ベランダ：鉢植えや物干しさおなど飛ばされそうなものの管理。

共助 日ごろのつながりがみんなを守ります
向こう三軒両どなりで助け合い

災害に備えてみんなでやっていきたいこと

1



地域で自主防災組織の結成に取り組みましょう。

2



災害救助に必要な工具などの非常用品を準備しておきましょう。

3



災害時要援護者の把握と個別支援計画の作成を進めましょう。

4



災害時要援護者の実態に合わせた防災訓練を実施しましょう。

5



災害時要援護者の日ごろの防災活動を手助けしましょう。

6



災害時に限らず日ごろから災害時要援護者への情報の提供に努めましょう。

7



災害時要援護者に配慮した避難所の確保、整備に努めましょう。

8



救助隊、ボランティアなどを受け入れる体制を整えておきましょう。

9



日ごろから災害時要援護者に地域活動への参加を促しましょう。

！地域で自主防災組織を結成しましょう

過去の災害では、道路の寸断などで、防災関係の公的機関が災害現場に直行できず、家族や近隣の人たちの力で助けられた人が多かったという事実があります。

災害に備え、地域の皆さんが協力し、日ごろから防災活動を行うことで被害を最小限に抑えることができます。この機会にぜひ、町内や団体で自主防災組織を結成し、地域の仲間助け合いましょう。

□市内の自主防災組織結成町内会・団体数：58組織 ※5月10日現在

！災害時要援護者の登録を行っています

市では、災害時などに一人で逃げるのが難しい高齢者や障がい者を地域で支援するため、災害時要援護者情報の登録を進めています。

民生委員・児童委員が、担当地区の要援護者を訪問し、ご本人やご家族の同意のもと、個人情報登録し、消防署などの関係機関と情報を共有し、安心安全な地域づくりに努めています。